

平成 26 年 5 月 15 日(木)

【司法試験受験予備校に対する質問事項】 回答書

東京都新宿区高田馬場 4-3-6

TEL : 03-3360-3371

辰巳法律研究所

1 実施講座につきまして

(1) 小さな講座を入れますと多くの講座があるわけではございますが、当研究所においてメインの講座とするのは以下のとおりでございます。

【基礎的講座】**①入門講座〈知識インプット〉**

法科大学院入試、予備試験対策、あるいは未修者として法科大学院に入学された方にとっては、司法試験対策において、文字通り基礎となる法律知識を提供する講座です。

②答案力養成答練&講義〈論文答案練習&知識インプット講座〉

入門講座に引き続き受講を予定されている講座で、入門講座で得た知識をもとに答案作成の基礎を学び、練習を繰り返す基礎レベルの論文演習講座です。またこの答案練習と併行し、より法科大学院入試対策等に直結する実践的知識をインプットする講座を開講しております。

【予備試験対策】

上記基礎的講座に加え、予備試験対策講座としては以下がメインの講座です。

①予備試験スタンダード論文答練

予備試験に出題される科目に関する論文答案練習会です。

②予備試験スタンダード短答演習

同じく予備試験の短答式試験に出題される科目につき短答問題を作成し出題致します。演習スケジュールは、まず各科目ごとの演習から始まり、最後には予備試験と同様の総合演習（予備総括）が実施されます。

③予備試験全国総合短答式模擬試験（総括）&論文公開模試

短答式試験直前に 1000 名規模で実施される短答模試と論文式試験直前に実施される論文模試です。

【司法試験対策】

司法試験対策としては、以下の 3 つがメインの講座です。

①司法試験スタンダード論文答練

翌年の司法試験合格を目指す者が集まる受験界最大規模の論文答案練習会です。論文問題は著名大学教授、法科大学院教授にも検討会に参加していただき、また監修

いただいた上で出題致します。解説講義はいわゆる<新>司法試験に合格した弁護士が担当します。毎年 2000 名以上の受講生が参加する半年スパンの答案練習会であり、受講生データとしては信憑性が高いものと思われます。

②司法試験スタンダード短答演習

上記論文答練と併行して実施される短答演習です。上記論文答練と併せて受講される方が大半です。

③司法試験全国模試

司法試験の直前に実施される総合模試です。本試験と同様な日程、同様な会場で実施いたします短答+論文の総合模試です。本年も 3200 名程度が受験した受験界最大規模の総合模試です。

(2)上記の講座を時系列にしてご説明致します。

【基礎的講座】

入門講座は毎年4月開講、翌年の3月末終了。答案力養成答練&講義は4月開講、8月末に終了いたします。受講生は、講座終了後或いは受講中より、自己の選択に従い、法科大学院入試或いは予備試験に挑戦します。例えば大学2年生の4月に入門講座の受講を開始したと致しますと3年生では予備試験に、4年生では予備試験、法科大学院入試の双方にチャレンジすることができます。

<学習1年目>

<学習2年目>

4月		4月		8月
----	--	----	--	----

入門講座

答案力養成答練&講義

【予備試験対策】

予備試験スタンダード論文演習、短答演習は10月から開講し翌年の4月までです。

10月		4月	6月
-----	--	----	----

予備試験スタンダード論文演習	総括	論文 模試
予備試験スタンダード短答演習		

【司法試験対策】

司法試験対策のメイン講座は、毎年10月からスタート致します。翌年初めて司法試験を受験する法科大学院生は、最終学年の10月より講座に通うことになります。

10月		4月
-----	--	----

司法試験スタンダード論文答練	全国 模試
司法試験スタンダード短答演習	

2 各講座における受講生割合につきまして

各講座における参加受講生の割合につきましては別表を御覧下さい。

(1) 各講座における受講生データにつきましては、より客観性を持たせるため直近3年分を集計し、その割合を算出いたしました。

特に司法試験全国模試は毎年多くの受講生が参加しており、今回は3年分10,000件以上の受講生データを整理いたしました。上記スタンダード論文答練と併せて受講する者も多く、両者のデータを付き合わせることで受講生の動態を知ることができるものと思われれます。

(2) **区分①**では、LS生、(大学)学部生、社会人、不明に分類し、**区分②**ではLS生につき修了生と在学生在を分類し、さらに**区分③**ではLS生につき学年別にデータを表示いたしました(修了3年目以上は1つにまとめました)。また併せてLS生については、平成25年度司法試験合格率によるランク別表示を入れてございます。

(3) これらの受講生データは、申込み時における本人の申告に基づいております。従いまして、LS修了生であっても本人が社会人と申告した場合には、社会人に分類してございます。

3 受講生の講座受講傾向につきまして

(1) 予備試験対策講座に関しましては、社会人、大学学部生の受講者が圧倒的多数を占め、特にLS在学生在は全くと言っていいほど受講いたしておりません。

(2) 司法試験対策講座につきましては、当然のことながらLS生の受講生が多く、特に修了生の受講が目立っています。

さらにLS在学生在も翌年の司法試験を意識しているためか3年生の受講生が圧倒的に多く、逆に2年生、1年生の受講生はほとんどいない状況です。

4 講座内容、設定の工夫につきまして

(1) 司法試験対策に関しましては、受講生の負担特に在学生の負担を考慮し、年内の論文答練は2週間に1回というように隔週にて実施しております。また次回のLIVE枠(担当講師による直接の解説講義が実施される枠)までに多くの参加可能枠を設けることにより、受講生のスケジュールに無理が生じない様にいたしております。

(2) また受講生のレベルにあわせて、当該問題のポイントを先に聴いた上で答案練習に参加するコース、或いは解説講義を通常コースより厚くしたコース等々、受講生のレベル・ニーズに対応できるよう配慮いたしております。

(3) 予備試験対策につきましては、なるべく多くの問題に接することが出来るよう、演習回数を多くし、また多く設定された演習を1日に複数回受けられるようスケジュールを工夫いたしております。

5 弊社講師の属性、人数につきまして

(1) 司法試験対策

いわゆる<新>司法試験対策には、この試験に合格した弁護士が適任であろうとの判断から、新司法試験に合格した弁護士に講座を担当させております。現在当研究所には、

司法試験のメイン講座を担当する弁護士が10名所属いたしております。

(2) 予備試験

予備試験対策においては、司法試験との連続性という視点から上記の〈新〉司法試験に合格した弁護士をメインとし、これに加え〈旧〉司法試験に合格した弁護士も一部担当いたしております。

(3) 特別講師

元司法研修所教官、法科大学院で教鞭をとった実績をお持ちの外部弁護士にも講義をお願いする場合がございます。司法試験対策、予備試験対策における法律実務基礎対策のほか司法修習に関する準備講座等を担当いただいております。

また司法試験の過去問講座につきましては、著名大学教授に講義をお願いする場合がございます。

(4) その他

司法試験合格発表から司法修習開始までの間、最新の合格ノウハウを受験生に提供すべく、その年の合格者による比較的短時間の講座を実施しております。例年10名程度の合格者が講義を担当します。

6 学部生が予備試験を受験する要因について

- (1) 法科大学院課程を経由しますと、少なくとも2年間の時間と多額の学費がかかりますので、まず予備試験で自分の実力を試していると思われれます。また予備試験の受験であれば、将来別の分野において就職した場合であっても受験を継続することができ、またその際受験を断念するとしてもマイナスが無いとの判断もあると思われれます。
- (2) さらに予備試験合格者の司法試験合格率が法科大学院課程修了者よりも高いこと、予備試験経由の方が司法試験合格後の法律事務所等への就職に有利との噂などが、予備試験受験に拍車をかけているものと思われれます。

7 法科大学院生が予備試験を受験する要因について

- (1) 予備試験の短答式問題は、司法試験の問題と一部共通とされ、また試験考査委員も一部併任されていることから、法科大学院在學生は、予備試験を司法試験の模試的な位置付けとして、あるいは法科大学院課程における学習の中間目標として、受験しているものと思われれます。このことは、法科大学院生が、司法試験対策とは異なり、予備校の予備試験対策講座をほとんど利用していないことから知られることが出来ます。また、最終的には法科大学院課程修了という資格で司法試験を受験するにせよ、予備試験合格という実績が、後の就職に有利に働くとの思惑もあるのかも知れませんが。
- (2) また法科大学院に通うためには時間も経費もかかることから、予備試験に合格して法科大学院を中退するという選択肢を持ちたいという気持ちもあるようです（最も予備試験に合格するのは法科大学院最終学年時であることが多く、実際には退学する者は少数です）。

8 大学生が予備校を利用する理由について

司法試験・予備試験対策として、大学・学部の授業だけでなく、受験対策に特化した予備

校の講座、特に短答式試験や論文式試験対策の必要性を感じているものと思われます。

9 法科大学院生が予備校を利用する理由について

上記8同様、法科大学院生が司法試験・予備試験対策として、法科大学院の授業だけでなく、受験対策に特化した予備校の講座の必要性を感じているものと思われます。特に、短答式試験や論文式試験対策においては、演習を重ねることにより得点が伸びるという傾向がございますので、限られた受験回数を有効に使用するためにも試験対策に特化した演習に参加するものと思われます。特に、全国レベルで自身の学力順位を知り、適切な対策方法を講じるためには、法科大学院の枠を超えた全国規模での答案練習会・全国公開模試を利用する必要があると感じているものと思われます。

10 法科大学院と受験予備校との関係について

法科大学院の授業では、法曹として必要な判例理論を中心とする基本的な知識・理解の確認を行い、受験予備校は短答演習や論文答案練習などの受験に特化した学習の機会を提供致しております。法科大学院生は、それぞれ別の目的にしたがって通うものであり、両者とも必要な機関であると認識しているものと思われます。

11 予備試験の制度的な制約・変更について

予備試験は、経済的な理由により法科大学院課程を経ることができない者にも法曹となる道を例外的に与えるというのが本来の趣旨とされていますが、現実には、大学の学部生や法科大学院進学者が多く受験しており、本来の制度趣旨を損なっているという意見もございます。

ただこの問題は、予備試験ルートVS法科大学院ルートというように一面的に捉えるべきではなく、如何にして、多くの若く有意な人材や社会経験を経た人材が、司法試験に挑戦できる機会を増やすかという視点で考えるべきだと思います。法曹養成制度全体の複雑さ、経済的・時間的負担から、法曹界に進むことを諦める人材が増えている現状に鑑み、もう一度法曹養成制度について考えるべき時点になっているものと思われます。

12 アンケートにつきまして。

このアンケートに関しましては、正確な情報を得るためには、広く法学部生を対象にアンケート調査すべきかと思われます。法曹になることに躊躇された方はそもそも予備校には参加しないとせずであり、予備校に参加している方のみを対象にしたアンケート調査のみでは実態を正確に反映しきれないのではないかと危惧致します。

【基礎的講座】

入門講座

区分①	区分②	区分③	人数構成 (%)		人数構成細目		
					ランク A	ランク B	ランク C
L S 生	修了生	修了3年目以上	16.44%	7.56%	1.04%	2.81%	3.70%
		修了2年目		5.19%	0.59%	2.52%	2.07%
		修了1年目		3.70%	0.15%	2.22%	1.33%
	在学生	3年生	4.59%	1.93%	0.44%	1.19%	0.30%
		2年生		1.48%	0.30%	0.74%	0.44%
		1年生		1.19%	0.30%	0.59%	0.30%
学部生	4年生	31.85%	9.48%				
	3年生		9.04%				
	2年生		8.00%				
	1年生		5.33%				
社会人			42.07%				
不明			5.04%				
合計			100%				

答案力養成答練&講義

区分①	区分②	区分③	人数構成 (%)		人数構成細目		
					ランク A	ランク B	ランク C
L S 生	修了生	修了3年目以上	9.78%	5.54%	1.11%	2.95%	1.48%
		修了2年目		2.21%	0.92%	0.55%	0.74%
		修了1年目		2.03%	0.37%	1.29%	0.37%
	在学生	3年生	4.61%	1.11%	0.37%	0.37%	0.37%
		2年生		2.21%	0.55%	0.55%	1.11%
		1年生		1.29%	0.55%	0.37%	0.37%
学部生	4年生	40.77%	22.69%				
	3年生		13.84%				
	2年生		3.87%				
	1年生		0.37%				
社会人			41.14%				
不明			3.69%				
合計			100%				

【予備試験対策】

※論文公開模試は、短答合格者のみ受験いたしますので本データ表には掲載いたしませんでした。

予備スタンダード論文答練

区分①	区分②	区分③	人数構成 (%)		人数構成細目		
					ランクA	ランクB	ランクC
L S 生	修了生	修了3年目以上	7.94%	7.01%	1.87%	2.80%	2.34%
		修了2年目		0.37%	0.19%	0.00%	0.19%
		修了1年目		0.56%	0.28%	0.09%	0.19%
	在学学生	3年生	1.59%	0.28%	0.09%	0.09%	0.09%
		2年生		0.56%	0.37%	0.09%	0.09%
		1年生		0.75%	0.47%	0.19%	0.09%
学部生	4年生	15.98%	6.45%				
	3年生		6.92%				
	2年生		2.24%				
	1年生		0.37%				
社会人			72.06%				
不明			2.43%				
合計			100%				

予備スタンダード短答演習

区分①	区分②	区分③	人数構成 (%)		人数構成細目		
					ランクA	ランクB	ランクC
L S 生	修了生	修了3年目以上	6.99%	6.39%	2.29%	1.93%	2.17%
		修了2年目		0.48%	0.00%	0.00%	0.48%
		修了1年目		0.12%	0.00%	0.12%	0.00%
	在学学生	3年生	1.08%	0.24%	0.00%	0.12%	0.12%
		2年生		0.60%	0.36%	0.12%	0.12%
		1年生		0.24%	0.12%	0.00%	0.12%
学部生	4年生	13.73%	5.42%				
	3年生		6.02%				
	2年生		1.81%				
	1年生		0.48%				
社会人			74.82%				
不明			3.37%				
合計			100%				

予備全国総合短答式模擬試験（総括）

区分①	区分②	区分③	人数構成（％）		人数構成細目		
					ランクA	ランクB	ランクC
L S 生	卒生	修了3年目以上	6.65%	5.16%	1.71%	1.77%	1.68%
		修了2年目		0.73%	0.16%	0.22%	0.35%
		修了1年目		0.76%	0.22%	0.22%	0.32%
	在学生	3年生	4.97%	2.22%	1.17%	0.47%	0.57%
		2年生		2.34%	1.39%	0.38%	0.57%
		1年生		0.41%	0.19%	0.16%	0.06%
学部生	4年生		18.29%	11.33%			
	3年生			4.87%			
	2年生			1.93%			
	1年生			0.16%			
社会人			67.09%				
不明			3.01%				
合計			100%				

【司法試験対策】

スタンダード論文答練

区分①	区分②	区分③	人数構成 (%)		人数構成細目		
					ランク A	ランク B	ランク C
L S 生	修了生	修了3年目以上	66.91%	22.78%	4.63%	7.75%	10.40%
		修了2年目		20.26%	5.84%	8.34%	6.09%
		修了1年目		23.87%	9.34%	8.97%	5.56%
	在學生	3年生	25.15%	24.00%	12.24%	7.71%	4.06%
		2年生		1.07%	0.28%	0.44%	0.35%
		1年生		0.07%	0.03%	0.01%	0.03%
学部生	4年生	1.21%	1.06%	/	/	/	/
	3年生		0.15%				
	2年生		0.00%				
	1年生		0.00%				
社会人			4.41%				
不明			2.32%				
合計			100%				

スタンダード短答演習

区分①	区分②	区分③	人数構成 (%)		人数構成細目		
					ランク A	ランク B	ランク C
L S 生	修了生	修了3年目以上	69.39%	26.45%	5.40%	9.05%	12.00%
		修了2年目		20.28%	5.12%	8.47%	6.69%
		修了1年目		22.66%	7.30%	9.24%	6.13%
	在學生	3年生	23.95%	22.47%	9.57%	8.82%	4.09%
		2年生		1.43%	0.23%	0.37%	0.82%
		1年生		0.05%	0.00%	0.02%	0.02%
学部生	4年生	1.12%	0.89%	/	/	/	/
	3年生		0.19%				
	2年生		0.05%				
	1年生		0.00%				
社会人			3.53%				
不明			2.01%				
合計			100%				

全国模試

区分①	区分②	区分③	人数構成 (%)		人数構成細目					
					ランクA	ランクB	ランクC			
LS生	修了生	修了3年目以上	58.26%	18.56%	3.79%	7.28%	7.50%			
		修了2年目		17.13%	4.63%	7.71%	4.78%			
		修了1年目		22.57%	8.89%	9.03%	4.65%			
	在学学生	3年生	33.78%	31.36%	17.65%	10.00%	3.70%			
		2年生		2.20%	0.49%	1.04%	0.68%			
		1年生		0.23%	0.04%	0.15%	0.04%			
学部生	4年生	1.73%	1.65%	/						
	3年生		0.07%							
	2年生		0.01%							
	1年生		0.01%							
社会人			3.58%							
不明			2.65%							
合計			100%							

※本全国模試データにおける「LS生在学学生・3年生」とは、当年3月にLSを卒業した者を意味いたします。